

播磨国姫路藩領村方・寺社文書概要

1: 文書群番号	076007
2: 文書群名	播磨国姫路藩領村方・寺社文書
3: 出所	-
4: 家業・役職等	-
5: 地名	①播磨国加東郡屋口村／現小野市中谷②播磨国加西郡上宮木村／現加西市上宮木町③播磨国飾東郡姫路／現姫路市④播磨国加古郡一色村／現加古川市平岡町一色ほか⑤播磨国加古郡野添村／現播磨町野添ほか⑥播磨国飾西郡町坪村／現姫路市町坪⑦播磨国揖西郡室津／現御津町室津⑧播磨国神西郡八徳山村／現香寺町相坂
6: 行政区分	①②幕府領／姫路藩領、③～⑧姫路藩領
7: 歴史	姫路藩は播磨国7郡に約400村(酒井氏入封時)を領有する譜代中藩である。藩主は池田氏以来9度交替し、寛延2年(1749)酒井氏入封によりようやく定着した。姫路藩では寛延2年、松平(結城)氏の過酷な収奪(御用金賦課など)に対する全藩一揆が勃発している。また文化5年(1808)、財政窮乏のため藩政改革に着手、姫路木綿をはじめとする領内産物の専売を行なう。幕末酒井氏は大老・老中を務め、鳥羽・伏見の戦いに幕府軍として参戦した。
8: 伝来	古書籍商より昭和51年9月に購入。平成15年1月に整理・目録作成を完了。
9: 史料入手先	古書籍商
10: 点数	15点(目録件数14件)
11: 年代	元禄2年(1689)～文久2年(1862)
12: 構造と内容	本文書群は、播磨国姫路藩領の村方・寺社・姫路城下の支配に関する文書である。時期的には酒井氏藩政期のものが多く、姫路藩の廻米・払い米・為替に関する仕法書や大野組(同国加古郡)の年々免付帳などがある。また城下町姫路に関するものが1点含まれており、榊原氏藩政期、宝永元年(1704)姫路町商売鉄砲覚えである。ほか幕府の国絵図作成令に関連して、播磨国において作成された文書として播磨国村高帳(元禄2)、寺社朱印地高書上げ帳(天保3)といった書冊が数点ある。
13: 関連史料	なし
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	松迫寿代